68 号

なでしこ通信

2019 年度　春号

理事長挨拶

静岡市里親家庭支援センター　　理事長　眞子　義秋

昨年度は、里親さんをはじめ、多くの関係者の皆様のご指導、ご支援により、里親支援事業の更なる充実を図ることができました。この場を借りまして、皆様に心から感謝申し上げます。

里親さんの相談支援につきましては、委託された乳幼児が一時保育又は入所できるよう保育園との調整に尽力するとともに、子どもができるだけスムーズに自立まで繋げることができるよう、学校や障害者相談機関等との連携に向けた働きかけをするなど、他機関、他団体との関係づくりにも力を入れてきました。

また、研修事業では、これまで座学中心の養育スキルアップ研修を見直し、参加型へ研修方法を変えるとともに、里親さんが養育経験や子どもの発達段階に応じて受講できるよう、未受託里親のためのフォローアップ研修、スタート研修、安心感の輪研修、里親向け CCP（キャリアカウンセリング・プロジェクト）など新たな研修の導入を図り、里親研修の体系化を目指してきました。さらに、静岡市里親会が主催した第 64 回関東甲信越静里親協議会静岡市大会の開催に当たっては、当センターが事務局として、本大会の成功に貢献することができました。このほか、「新しい社会的養育ビジョン」に謳われた「フォスタリング機関（里親養育包括支援機関）」の先進的な団体として全国的に注目されるようになり、例年よりも多くの視察団体に対応したことに加えて、他団体が主催する講演会や研修会に当センター職員が招かれ発表する機会が急増するなど、充実した一年となりました。

さて、今年度は、5 月 1 日から新天皇が誕生し、元号が改元され、令和元年となります。このような画期的な年に、「新しい社会的養育ビジョン」が打ち出した家庭養護の本格的な推進に向け、その大きな原動力となる「フォスタリング機関」を都道府県及び政令指定都市に 2020 年度までに設置することになっており、今年度は正に「家庭養護元年」と呼ぶにふさわしい年になります。

このようなときに、当センターでは、ベテラン職員の根生直子さんと高山鐘子さんが今年 3 月で退職しました。代わって、児童相談所で相談業務をはじめ 7 年勤務してきた望月たえ子さんと社会福祉士公募により採用した杉山真理さんに、フォスタリング・チェンジ・プログラムのファシリテーターとして担当してきたトマジ里絵さんを加え、新たな職員体制でスタートします。

また、佐野多恵子さんには、昨年度に引き続き、フォスタリング・アドバイザーとして、当センターの事業全般にわたって、アドバイスしてもらいます。

里親の皆様にはご心配をお掛けしますが、新職員には、早期に、担当する里親さんのところへ自己紹介

を兼ねて家庭訪問を実施しますので、気兼ねなくご相談下さい。

また、できるだけ、里親さんの相談支援が低下することがないよう、6月末までは、根生さんに非常勤職員として残ってもらい、丁寧な事務引き継ぎを行なってもらうとともに、ファスタリング・アドバイザーの佐野多恵子さんと二人で、新職員への助言、指導を行ってもらいます。

さらに、綿密な内部研修及び外部研修を実施し、職員の資質向上を図ってまいります。

このように、新職員ができるだけ早く里親さんのことや里親支援事業のことを習得し、フォスタリング機関としての機能を十全に発揮していけるよう、児童相談所、里親会と連携して対応してまいりますので、里親の皆様のご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2019年度 児童相談所職員体制

前所長のあいさつ

前児童相談所長　杉山　友章　様

静岡市里親会の皆様、そして静岡市里親家庭支援センターの皆様、一年という短い期間でしたが、皆様には大変お世話になり、厚く感謝申し上げます。

思えば昨年の４月、皆様に温かく迎えていただき、そのうれしい気持ちをもってスタートできたことは、この一年の大きな心の支えでした。

あれから一年、皆様とは常に「子どもたちの最大の幸せのために」という思いを共有させていただき共に歩ませていただきました。日々の活動においては、里親委託はもとより、子どもの一時保護にあたっても、皆様のきめ細やかな配慮と昼夜ない迅速な対応をいただき、おかげをもちまして、多くの子どもたちが、皆様の温かい家庭の中で過ごすことが出来ました。このことにつきましても改めて心から感謝申し上げますとともに、皆様のたゆまぬご活躍と熱き思いに改めて敬意を表させていただきます。

さて、静岡市の里親委託率が全国トップクラスとなってはや５年となります。この中で、私が一番誇りに思うことは、静岡市の里親の皆様と支援センターとが両輪となって、常に子どもたちと里親の皆様を支え、寄り添い、励まし、共に成長する大きな輪となり、一つの家族として歩まれている姿です。このことは他に類をみないすばらしい活動であり、全国に発信する、まさに静岡市の宝であります。

それも眞子理事長や眞保会長をはじめとする里親会役員の皆様、そして里親お一人おひとりの子どもたちに向けられた温かいお気持ちがしっかりとベースにあり、共有され、常に前向きにブラッシュアップされているからこそだと思っております。

是非、皆様におかれましては、これからも健康に十分留意され、益々のご活躍と里親会、里親家庭支援センターの更なるご発展を心から祈念申し上げます。

末筆となりますが、私はこの４月から子ども未来局次長の任にあたりますが、引き続き子どもたちの幸多い成長に向け、微力ではありますが、精一杯務めさせていただきますので、これからもよろしくお願いいたします。

１年間、本当にありがとうございました。

新所長あいさつ

児童相談所長　松下　龍　一　様

この度の人事異動により、4 月から杉山前所長の後任として児童相談所長に就任しました、松下です。就任にあたり、一言御挨拶申し上げます。

児童相談所への勤務は 4 年ぶりとなります。その間、駿河区の子育て支援課に在籍していましたことから、里親の皆さん、里親家庭支援センターの皆さん、児童相談所とは、直接的、間接的なお付き合いがありました。あるお子さんが里親さんの元で暮らしていることを見聞きする度に、その志と決断に有り難く、また里親さん達を支える里親会や支援センターの皆さんの日頃の活動と弛まぬ御努力に、同じ子ども達を応援する立場にある者として、励まされ、頼もしく感じていたところです。

さて、この 15 年程、継続して行政の立場から生活保護、DV被害者支援、児童虐待、保育所難民等々の最前線に関わってきた経験から私が感じるのは、子育てを取り巻く環境の大きく、目まぐるしい変化です。特に若いお母さんたちの子育て感（自身の生活において、“子育て”をどう位置付けているか）の変化とスマートフォンの登場は、子育ての風景を劇的に変えたと感じます。ある若いお母さんたちにとって、子育ては必ずしも絶対的な優先順位 1 位ではなくなりました。またスマホは子どもの側、親側の双方に“地殻変動”を起こしました。諸刃の剣、「スマ」また、“初めての子育て”というミッションの中で、御自身の発達障害などの特徴に直面し、困難が顕在化する親御さんが増えていることも強く感じています。ここ数年、福祉事務所ではこのようなご家族を支援する機会が本当に増えました。

受け売りですが、私自身、困難な状況にある子ども達や家族を応援してきた経験の中で、ヒトが生きていくために大切なのは“へこたれない心”だと思っています。生まれた時からスマホのある環境で、どうやって子どもたちの“へこたれない心”を育てていくか？　私たち大人の取り組むべき大きな宿題だと思います。

実は里親さん、里親会、支援センターの皆さんがこれまで培ってこられた子育てや寄り添いのノウハウ、相互に助け合う仕組み、そして何より里親さん達のご家族やそこで育った子ども達の多くの経験の中にも“へこたれない心”を育てる多くのヒントがあり、社会的な資源になるのでは…と思っています。

里親会、支援センターの取組みは全国の先進事例として広く認知され、皆様の熱い想いと日頃の活動に敬意を表するとともに、感謝申し上げる次第です。

杉山前所長からは多くの課題を引き継ぎました。今後とも里親会、支援センターの皆様にもお力添えをいただきながら、職員一丸となって、これらの課題に取組んでいきたいと考えています。よろしくお願いします。

◇ 児童相談所職員（係長以上）紹介

所　長	松下　龍一　氏
総務係長	林　茂　氏
相談係長	松田　理恵子　氏
判定係長	百瀬　大悟　氏
所長補佐兼支援第 1 係長	大石　剛久　氏
支援第 2 係長	鷲山　敦　氏　（里親事務とりまとめ）
主幹兼支援第 3 係長	戸田　正弘　氏
一時保護係長	白鳥　順也　氏

センター職員の人事異動

□退職

主任・里親推進員　　根生直子

早いもので、児童相談所で２年、センターに移ってから６年が経ちました。初めて里親委託に関わった赤ちゃんはこの春３年生になりました。その間、里親さんに大切に育てられ家庭に帰った子ども達もいれば、里親さんの元を巣立ち自立して生活している子どももいます。どんな辛い経験をしていても、里親さんと暮らし始めた子どもたちは一様に笑顔が増え、その子らしい伸びやかさを見せ始めます。そんな光景を見るたびに子どもの可能性に驚かされ、「里親さんの所へ行って良かった」としみじみ嬉しくなるのです。

また、「里親になる」という大きな決断をして、養育が始まれば熱中、奮闘し、時に子どもに翻弄されながらも自らをパワーアップさせ、うまくいかない日があっても乗り越えていく里親さんの誠実でたくましい姿にはいつも感動させられました。何度「凄い」と唸らされたことでしょう。届かない点ばかりだったと思いますが、お詫びをしつつ、「人のチカラを信じること」を教えて下さった子どもたちや里親さん、支えて頂いた職場や関係者の皆様に心からお礼を申し上げたいと思います。８年間、ありがとうございました。家庭の事情により一旦３月で退職し、引き継ぎのため６月まで残ります。

今後は新しくなるセンターへのご協力をよろしくお願いいたします。

里親支援員　高山鐘子

この度平成 31 年 3 月 31 日をもって退職することとなりました、支援センター支援員高山鐘子です。日々、社会的養護の子どもの養育、支える姿にこちらが力をいただいてまいりました。平成２８年１０月より２年半という短い間でしたが、皆様には大変お世話になりました。

今後の皆様の健康とご活躍をお祈りしております。本当にありがとうございました。

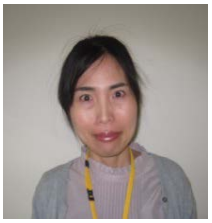
□採用

主任・里親推進員　　望月たえ子

平成 31 年４月１日より里親家庭支援センターで勤務させていただきます、望月たえ子と申[illegible]相談所で７年間働く中で、１年間里親担当の仕事をやらせていただきました。

色々な親の事情で離れて生活をする子ども（社会養護を必要とする児）を、目の前で見てきました。その時の行き先が里親家庭になり養育された子ども達は、１番の基盤となる「愛着」ができ心身共に幸せを感じられる姿を見て、そのお手伝いの仲間の１人に加えていただきたいと思いました。皆様に色々教えていただきながら、気楽に相談していただけるよう努力してまいります。宜しくお願いします。

里親支援員　杉山真理



はじめまして。4 月 1 日より里親家庭支援センターで里親支援員として勤務させていただきます。杉山真理と申します。福祉系の大学を卒業後、いくつかの職を経て、6 年前より、障害のある方の就労支援員や医療ソーシャルワーカーとして勤務しました。子どもに関わる仕事をしたいという思いから、今回このお仕事をさせていただけることになりました。皆さんとの出会いを大切に、自身も成長しながら頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

平成 30 年度　新規里親紹介

・養育里親・養子縁組里親登録	平成 31 年 3 月	駿河区里親ご夫妻
・養育里親・養子縁組里親登録	平成 31 年 3 月	駿河区里親ご夫妻
・養子縁組里親登録	平成 31 年 3 月	駿河区里親ご夫妻

平成 30 年度理事会　報告

第３回、第４回理事会が次のとおり開催され、審議事項は全て満場一致で承認されました。

第３回理事会

日時：平成 31 年 2 月 21 日（木）午前 11 時 15 分～　　場所：児童相談所多目的室

【審議・報告】

第１号議案　大学等修学支援奨学金給付要綱の一部改正について

趣旨：当該奨学金の寄付者から、大学等修学支援奨学金とは別に、広く社会的教養を身に付け社会人として成長できるよう寄付金の増額の申し出を受け、「教養娯楽費」として給付するため、大学等修学支援奨学金給付要綱を一部改正。

第２号議案　平成３０年度　第２次補正予算について

趣旨：上記の寄付金のほか、アイワ不動産株式会社及び杉村宣行氏からの寄付金をフォスタリングチェンジ・プログラム、今年度新たに実施した「キャリア・カウンセリング・プロジェクト」及び臨床心理士による心理相談の運営経費に賄うため、予算を補正。

第１号報告　教養娯楽費の額及び対象者の決定について

内容：先に承認された「教養娯楽費」の額を２０万円とすること、及び今年度奨学金を給付されている短大（保育科）の学生を対象者とすることを理事長が決定。

第２号報告　外部団体主催の講演会等の講師の派遣状況について

内容：国が全国に設置を進めようとしている「フォスタリング機関」（里親養育包括支援機関）として当センターが注目されていることから、行政や里親会などの関係機関、団体からの視察が今年度も１７件あったほか、全国の関係機関、団体が主催する講演会や研修会に当センターの職員の派遣依頼が１８件ほどに及んでいる。

第４回理事会

日時：平成 31 年 3 月 29 日（金）午前 11 時～　　場所：児童相談所多目的室

【審議・報告】

第１号議案　２０１９年度 事業計画（案）について

第２号議案　２０１９年度　当初予算（案）について

増額理由：委託事業費として静鉄広告をはじめとする普及啓発事業の一層の充実のための増額、自立支援計画の作成に係る

職員増員及び事業費の増額、CCP の開催経費の増額があったこと、自主事業として、前年度まで委託事業に計上していた「里子自立相談援助事業費」が削られたため、自立支援事業に移して継続するための増額、大学等修学支援奨学金等給付事業の対象者及び給付額の増額、管理費における非常勤職員 3 か月分の給与費の増額等。

第３号議案　理事の増員について

趣旨：フォスタリング機関としてのさらなる事業の拡大・深化と組織の持続性の確保のため、理事２名の増員。

第１号報告　２０１９年度人事異動について

第２号報告　２０１９年度大学等修学支援奨学金等給付対象者の決定について

静岡県立大学看護科（４年制）、静岡産業技術専門学校みらい情報科（４年制）、静岡英和学院短期大学部現代コミュニケーション学科（２年制）に合格した３人を給付対象者として理事長が決定。

フォスタリングチェンジ・プログラム

静岡市里親家庭支援センター自主事業

フォスタリングチェンジ・プログラムは 1999 年にイギリスで生まれた里親研修プログラムです。

子どもとの良好な関係形成に重点を置き、問題行動への対応につなげます。同時に家庭での実践を通して、行動の裏にある子どもの気持ちに気づいていきます。

子どもだけでなく、里親が自分自身を大切にし、自信をもって日々を過ごすことの重要性が示されているのもこのプログラムの特徴です。

2016 年に日本に導入されて以来、昨年度末には北海道から沖縄まで全国 18 か所で実施され、静岡市でも 2017 年開始以来、10 名の里親さんが受講されました。

３年目となる今年も篤志家からのご寄付に依り、６名の参加者ともに、５月からのスタートが叶いました。

来年度はフォスタリングチェンジ・プログラムの思春期バージョン、「１２+（トゥエルブプラス）」の開催も検討しています。

＊全国の実施状況や評価、研究につきましては「フォスタリングチェンジ・プログラム 2018 実施報告」、または WEB（フォスタリングチェンジ・プログラムで検索）でご確認ください。

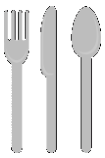
スキルアップ研修

就業支援セミナー　「社会に旅立つ君に」これだけは伝えておきたい

日　時:平成 31 年 2 月 3 日(日)10:00～14:00
場　所:アクトシティ浜松　コンプレスセンター　　ホテルクラウンパレス浜松
参　加:人数;こども7名　里親 4 名
主　催:デンマーク牧場福祉会　就業支援事業部　しあんくれーる

≪ＯＢからのメッセージを聞いての感想≫

参加して良かった　ためになった
自分の生き方を見つける事は大変な事
わからないことがわからないから聞く事が出来ないって気持ちがわかる
聞く事は大事　努力も大事
就職してからも勉強するのはちょっと嫌



≪テーブルマナーの感想≫

とてもおいしかった　（特にお肉とデザート）
ナイフとフォークの使い方が難しかった
ドキドキして味がわからなかった　緊張した
マナーは難しい
また参加したい

第 23 回スキルアップ研修
「ティーンのためのクッキング」

日時:平成 31 年 3 月 2 日(土)10:00～13:00
場所:南部生涯学習センター　調理室
参加人数:こども7名　里親3名　センター職員１名
講師:佐野容子先生

昨年より始まりましたクッキング。今回は参加している子ども達からのリクエストで「スイーツを作ろう」等みんな大好きなお菓子作りをすることになりました。今回は、色とりどりの季節の果物を使ったタルトとパンケーキに挑戦しました。

「カスタードクリームが固まらない、フルーツどんな感じで切る？美味しそう、味見したい」とワイワイ・ガヤガヤ♪「仕上げは任せて」と、高１のTちゃんは　　素敵なデコレーションケーキを作り上げ大喜びでした。

Tちゃんの自信作

今回もフードバンクさんから食材の提供いただき実施しました。ありがとございました。

CCP （ｷｬﾘｱ・ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ・ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ） 未来について考えてみよう

進路のこと、就職のこと。これからみんなが生きていく未来のこと。考えてみよう。

日　時 ： H30 年 9 月から H31 年 2 月までの月1回金曜日　19:00～20:30
会　場 ： 駿河生涯学習センター　303 活動室
対象者 ： 小学校高学年から中学生の6名
講　師 ： 静岡大学教育学部　井出智博准教授（臨床心理士）
ボランティア：井出ゼミの大学生５名

○１回目　「里親家庭で育った方のお話を聴こう」（インタビュー形式）
里親家庭で育った方に、中高校生時代のこと、進学や就職した時のことを話していただいた。
○2 回目　「いろんなおとなの１週間を見てみよう」
いろいろなおとなの１週間をみて、自分の職業選びについて考えました。
○３回目　「いろんなおとなの生き方」テーマは価値観。８人の人生を比較しました。
○4 回目　「自分の性格にあった仕事やアルバイトを探してみよう」
性格検査をして、特性を生かした仕事を「１３歳のハローワーク」から探しました。
○５回目　「人生ゲーム」
賃貸情報誌で選んだ家で一人暮らしのスタート。給料をもらう、家賃を払う。
実際の生活上の出来事を盛り込んだゲームで損をしたり、得をしたり大いに盛り上がりました。
○6 回目　「人生設計」「修了式」
進学は？　就職は？　結婚は？こんな人生楽しそうだな、という人生を設計しました。

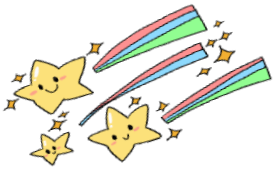
参加した子どもたちの声

人生を考え直す良い機会だと思った。お金が無くなっていく人生。
大人になっていくにつれてどのように道を進んでいくか真剣に考えたい。
自分以外にも気持ちが一緒な人がいるなんて、少し気持ちが楽になった。
大人になるにはいろんな礼儀とかを知っとかないといけないとわかった。
いつも好きなもの買ってくれてありがとうとすごい思った。

別室で参加したおとなたちの声

私にとっても子どもにとっても楽しく、話がふくらんで里親の青春の１ページにまで話しました。
「自分でできる」「自分で決める」の連発に、驚きの毎日でした。
今後も同じ仲間で成長を話し合ったり、励ましあったりできると、良いなあと思います。
一歩一歩大人に近づいていると感じる時がありました。共通の会話ができる喜び。
本人にはなりたい職業があり、私たちはその夢をかなえられるよう応援したいと思います。
帰宅してからパソコンで「里子の後輩たちに伝えたいこと」という文章を打ち始めました。

第２回お仕事フェスタ



日　時　　平成 31 年 2 月 16 日（土）10：00～12：00
会　場　　和田地域交流センター「わかしお」
参加者　　こども 31 名（うち、静岡市の子どもは 14 名）
主催：児童家庭支援センターはるかぜ、協力：中部地区里親会、静岡市里親会、静岡市里親家庭支援センター、静岡ホーム、春風寮
ライフワーカー17 名

ライフワーカーの皆さんご協力ありがとうございました！！

塗装工事屋、パン屋、畳職人、オートバイ屋、高齢者福祉
不動産屋、保育士、就労支援相談員、林業・ツリーケア
洋服屋、柔道整復師、ネイリスト、看護師、ラーメン屋

ペンキ初めて塗ったけど上手だねと、言ってもらえた。

平成 30 年度　未受託里親フォローアップ研修

４月当初、10 組でスタートした研修も、年度末までには７世帯が子育てをはじめています。また、さらに年度中に新たに里親認定を受けた５組を迎え、それぞれが乳児院ボランティアやショートルフラン、レスパイト・ケアと日々研修に取り組みました。

新米里親さんの不安な表情が、子どもと触れ合うたびに、柔らかく自信に満ちた表情へと変わる姿にとても嬉しくなります。受託はゴールでなくはじまりです。今この時に、底力をつけ自分らしい子育てに向き合えるような研修を続けていきたいと思います。

研修	参加人数
保健センター見学	5
子どものいる暮らしシュミレーション（小学生編）	5
子どもと遊ぼう	11
隣人会保育園実習４日間	1
子どものいる暮らしシュミレーション（乳児編）	8
春日保育園実習	1
乳児院ボランティア	37 回
静岡ホーム保育体験	5 回
レスパイト･ケア	4 回
ショートルフラン	12 回

もちつき大会

日時：平成 31 年 1 月 27 日（日）参加者：59 名
協力：青少年育成部ＯＢ会九三の会

ぽかぽか陽気のなか開催された餅つき大会。今回の参加者は小学生以下の子ども達が多くいつもとは少し雰囲気が違っていましたが、里父さんと一緒にお餅をついたり、ピエロに動物風船を作ってもらって大喜びでした。里母さん達は豚汁用の野菜を切りながら楽しくおしゃべり。
そのうち、つきたてのきなこ・あんこ・納豆・辛み餅が次から次へと出てきてみんなで美味しくいただきました。

燻製も具沢山の豚汁もいっぱい食べてお腹も大満足でした。
里親さん同士も楽しく近況報告を語り合い、とても楽しい１日でした。
九三の会の皆さま、早朝からありがとうございました。

ちびっこ　豆まき大会

日時：平成 31 年 2 月 1 日（金）
参加者：13 名　　場所：静岡市児童相談所

「おにはそと～！ふくはうち～！」赤鬼さんに向けて、ちびっこ達が豆を投げたり、お菓子を拾ったり。拾いながら食べちゃう顔がまた可愛い　(^O^)
泣きだす子どもも一人もなく楽しく鬼を退治しました。(笑)
ランチは、里母さん達の手作り鬼ライス。しゃけごはんの顔に焼きそばの髪の毛、チーズのつの、みんな美味しくいただきました。
鬼ケーキは里母さんと一緒に作りましたよ。とても、楽しいまめまき大会でした。

日帰り旅行 in 浜松動物園

日時：平成 31 年 2 月 23 日（土）
参加者：45 名　　場所：浜松動物園　他

浜松動物園、エアーパーク、うなぎパイファクトリーの 3 ヶ所に総勢 45 名で行って来ました。
大型バスの中から大騒ぎ、動物園でも走りまわり親はクタクタ。エアーパークではフライトスーツに着替えて記念写真。うなぎパイ工場ではおみやげももらい、大喜びの子ども達でした。
帰りのバスの中では、「また、一緒に遊ぼうね」と別れを惜しんでいました。

≪子どもの感想≫

・動物園が楽しかった。　友だちと遊べて楽しかった。　バスの中のお菓子交換が楽しかった。

≪大人の感想≫

・子ども達の楽しい顔が見られて良かった。また行きたい。

・なでしこ会の行事に参加することで子ども達が不安になる事もあるが、親同様、里子仲間の力になる事が先々に間違いなくあるはず。小さいころから知っているからこそ、同じ境遇にいたんだ！って気づいた時に、きっと力になる仲間になれるだろうな。日常的には里親子だと忘れている私たち。だからこそ里親会の行事には積極的に参加して横の繋がりを大事にしたいなと思っていますと、心温まるメールをいただきました。

活動報告(1～3月)

1月7日（月）	出前講座　「里親養育体験談」　駿河区里親 参加者　　60　人	静岡大学にて
1月9日（水）	相談員「傾聴」研修　アクティブリスニング静岡 相談員会議	静岡市児童相談所にて
1月17日（木）	登録前研修・更新研修 参加者　　28人	静岡市児童相談所にて
1月27日（日）	合同サロン　「もちつき大会」 参加者　59　人	静岡市清水区にて
2月1日（金）	ちびっこサロン　「まめまき大会」 参加者　13人	静岡市児童相談所にて
2月3日（日）	就業支援セミナー 主催　デンマーク牧場福祉会　しあんくれーる 参加者　　11人	浜松アクトタワー ホテルクラウンパレス浜松
2月9日（土）	里親制度説明会　清水区 参加者　10人	清水区役所
2月15日（金）	出前講座 参加者　20人	葵生涯学習センター
2月16日（土）	お仕事フェスタ 参加者　14　人	焼津市にて
2月21日（木）	第3回静岡市里親会役員会 第3回静岡市里親家庭支援センター理事会	静岡市児童相談所にて
2月23日（土）	日帰り旅行 in 浜松動物園 参加者　45人	浜松動物園にて
2月26日（火）	静岡乳児院懇談会 参加者　　9人	静岡乳児院にて
2月27日（水）	里親サロン 参加者　17　人	清水区にて
3月2日（土）	スキルアップ研修　「中高生クッキング」 講師　佐野　容子氏　　参加者　10　人	南部生涯学習センター
3月11日（月）	第64回関東甲信越静里親協議会静岡市大会 実行委員会	静岡市児童相談所にて
3月25日（月）	浜松市里親会との交流会（体験談）	浜松市児童相談所
3月29日（金）	第4回静岡市里親会役員会 第4回静岡市里親家庭支援センター理事会	静岡市児童相談所にて

＜　今後の予定　＞

4月23日（火）	合同サロン　　児相	
5月12日（日）	**静岡市里親会総会**	**アイセル21**
	第1回スキルアップ研修	**アイセル21**
5月17日（木）	ちびっこサロン	
5月23日（木）	リサイクル交換会　児相	
5月29日（水）	里親サロン　　葵区	

事前のお申込みをお願いします

皆様のご理解に感謝いたします。

（平成 30 年 12 月 16 日～31 年 3 月 31 日）

特別会員

静岡市里親会

寄付者

東海ビバッレジ　石川恵美　眞保和彦　望月秀樹　匿名

敬称略・順不同で掲載させていただきました。

皆様から寄せられた会費や寄付金は、本センターが取り組む事業のために大切に使わせて頂きます。
今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

なでしこ通信の由来

5月から新しい年号＜令和＞になり、出典は万葉集だったことで、なでしこ通信の由来を思い出しました。
『昭和40年代、全国里親会が秋田県で行われた時の事です。その日の来賓高松宮妃殿下。座談会の席で出席していた桜井、近藤両里親さんにお声をかけられ、お二人が静岡市在住であることをお伝えすると「里親のシンボルマークでもある＜なでしこ＞を静岡の里親会の名前にしたらどうかしら？」とおっしゃったとか。』それが、なでしこの始まりだったようです。眞子理事長は万葉集繋がりと笑みを浮かべながら「今度、本を購入しようかな」と言っていました。

花言葉　　【 思慕 】
語源は　　＜愛しい子＞を意味する＜撫でし子＞に由来
「形小さく　色愛すべき愛児に擬す（万葉集）」からの花名

編 集 後 記

国がまとめたフォスタリング機関ガイドラインには、フォスタリング業務の目的に「子どもの最善の利益の追求と実現を図ることにある。」と書かれていますが、昨年４月に短大等を卒業後就職した子ども達が少々心配することはあるものの、着実に成長し、自立していることに、子どもの力の凄さを感じています。

今年は、３人の子どもが大学、専門学校、短大にそれぞれ進学しました。この子どもたちも傍から見ていてハラハラするところもありましたが、立派に合格し、就職のための知識・技術を修得するだけではなく、多くの経験を得て、さらに可能性を伸ばしてくれるものと信じています。

子どもの力の素晴らしさに改めて感動するとともに、このような子どもの達を長い間、支えてくれた里親さんの偉大さにも感謝です。

NPO法人　**静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947　静岡市瀬町914番地の417（静岡市児童相談所内）
TEL. 275－2252・FAX. 255－2052
担当者　　望月秀　望月た　杉山　トマジ
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp